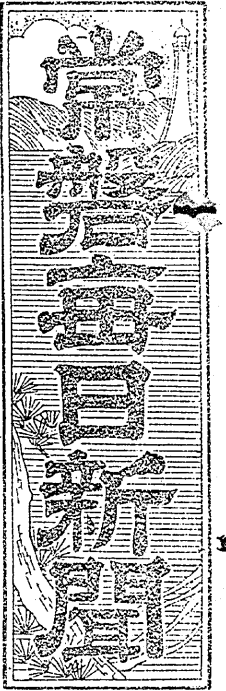


刊夕日四月二



定額一紙... 電話六三〇〇

### 芳澤外相に望む

石川 文也

大いなる歡呼に迎えられ  
大なる期待と又自らも大なる  
抱負を以て歸朝した芳澤  
新外相の責務こそは、寔に  
重且大なるを痛感せざるべ  
からず。我が外交上國威は  
云ふに及ばず切實に國利民  
福に直接間接影響をもた  
らすものには、豈支滿蒙問  
題あり、一は對露問題があ  
る。一は目下國民を擧げて  
其の渦中にあり、一は目下  
冷熱の中にありと雖も共に  
重且つ大にして其の成否は  
吾等の存亡に及ばず切實  
なる問題である。前内閣民  
政黨内閣に於ては事々に其  
の失策の限りを盡し所謂幣  
原外交なる軟弱軌道外交  
の代名詞さへも生ずるに至  
つた。これ寔に嘆かほしき  
ことなり、我が日本帝國に  
幣原外交若しくは何々外交  
なるものゝ生ずべき管なく  
明治より日露戰役により終始  
一貫して日露兩國の一大外  
交軌道たるべき事を信じ  
て疑いざる所である。米國  
とソビエト國とを以て露國と  
云ふも、其の實は天下とな  
り、其の實は天下となり  
労働黨の手に據り、保守  
黨は僅かに帝政覆りて  
ソビエトの時代となる

と雖も、常に一貫したる外  
交國是ありて其の方針に邁  
進しつゝあるではないか、  
我が國に於ても明治以來の  
日本外交なるものありて、  
小村外交加藤外交等の名稱  
ありしを寡聞にして聞かず  
幣原氏に至り幣原外交なる  
初名稱の生じたりと聞く  
宜敷新外相芳澤氏は日本外  
交をして明治以來の宏談に  
則り、再び日東外交をして  
確立常軌道に復せしめられ  
んこと、吾等の衷心より切  
望して己まざる次第である  
新外相就任に當り遙か北の  
彼方より敢えて青年の言  
を耳に挿まれんことを。



### 山育ち

平山 博武

私は貧しい山で育つた  
そこは何時も強い風が吹  
へてゐた  
裏山の根上り松が  
どんなに強く枝を支へて  
ゐたかを  
それは私はよく知つて居  
る

私は貧しい山で育つた  
そこは何時も砂が吹き上  
げられてゐた  
白い花の櫻の木が強く根  
はつてゐたのを  
それだけ私はよくしつて  
ゐる

### 黄昏

平山ひろし

かすかに流れ行く  
夕べの鐘の音が  
あたりの家々に響き渡る  
と  
照りたる日も彼方に落ち  
て  
幽暗なる谷底ごと  
かすかに黄昏はやまりぬ  
泣きたる虫の音も何處に  
かくれ  
泣く木枯のみが  
ヒトつとさゆらぎぬ  
そは来る夜の寒さを思せ  
る  
あゝ沸しけれど  
つゝまじき  
冬の黄昏か

### 童謡詩

平山ひろし

蒼の顔の三日月が  
新川の上を遊んでた  
星がちらほら浮へてゐた  
寒へくとないてる様だ  
サラ／＼  
身のつかるゝ迄も  
陽の西際に行く迄も

### 外科 X光線科

性病科  
外科科  
科科

平町田町

### 安齊外科醫院

電話四七五番

入院隨意

### 磐城名産

鮭節と鹽ら

### 魚問屋

最優最大日本生命平代理店  
志賀盛榮  
平四丁目二一三番

### 木村病院

平新川町十九  
電話一六四番

婦人科 院長 木村寅次郎  
産科 醫學士 松永憲一  
内臓外科 整形外科

### 玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

### 吉例 舊正月三月初賣

### 景品附大特賣

當日前二時開店

- 責任保證最新型時計の推獎
- スピード時代に於ける能率増進はまづ正確な時計から
- 蓄音機の特賣部新設
- 教育に娛樂に趣味に御家庭の和氣をそゝる肉聲其儘の蓄音機
- レコード新譜各種新着
- 其他眼鏡指環貴金装身具懷中電機等豊富に新荷着

平町五丁目(釜屋商店前)  
鐵道省御用 **金光堂時計店**  
(電一五九番)

### 例景品付大賣出し

### 吉例

金輪出再禁止前の安値仕入品を更にお努めの破格提供!!  
舊正月二日、三日、四日の三日間

### あかや洋服店

# とく名の在満兵士が 貧困者に情けの送金

## 慰問せられる、は有難いがと 戦地に在つて郷里を思ふ

本日平署人事相談所へ満洲長春廿九聯隊小名濱出身の一兵卒の匿名を以つて爲替二圓を送つて来たが夫れに添えた書状に依ると在満兵の苦心に同情し吾々出征軍人を慰問せらるゝのは感謝に耐えないが母國の現状を新聞等で見ると殊の外不況で凶作地方の惨状は定めし豫想以上と思はれる殊に故郷の石城地方にも必ず生活難等に追はれる人があるであらうから少々ですがこの意味がこめられてあり係員を感激せしめた

けふは節分にあたります、昔からこの日には豆撒きの行事が行はれますが、これは追難または鬼拂ひともいはれ、もとは支那から来たもので、わが國では今から千二百廿余年前文武天皇の慶雲三年、天候不順で五穀みならず悪疫流行して死するもの數多く、國民は非常に苦しんだため、長くも天皇には宸襟をなやませられ、詔して五大寺をして天下泰平、國土安民のため金剛明經を讀ましめ、あるひは租税を減じ、老幼孤

## 無名の篤志者が モチ代に百圓

### 平町役場に 置いて立去る

本日正午頃平町役場へ匿名を以つて貧困者の餅代にと金百圓を置いて立去つた奇篤志者があり役場にては此の篤志に感目下氏名調査中である

## 荒廢地植林

江筋の寄附を減額  
昨では去る五年度以來石城郡小川平窪地内山林の荒廢地復舊工事費三萬八千餘圓を三ヶ年繼續事業として豫算に計上すに約八十町歩の荒廢地に對し土留植林を行つたが七年度においては繼續豫算年度割を一ヶ年繰延べ半額の六千餘圓に減額したので直接の受益者として工費の二割を負據縣に寄附した石城郡小川江筋水利

## 稻ねつ病

### 稻の古株に潜伏

#### 農試分場に於て調査 農家は十分注意せよ

從來一般農家が惱まされて来た稻熱病につき農試分場に於て調査した結果によれば稻熱病は苗代時代に發生するもので病菌が稻の古株等に潜伏してゐるためと判明したので農家は苗代手入として全部稻株を抜取り同病の發生を防止することが苗代時期として大切で農家は十分注意すべきであると

## 中堅農民 長期講習

郡農會主催の長期中堅農民講習會は農事試験神谷分場に於て九日より十八日迄行ふ事に決定し講師は主に地元吏員を以つてし、神谷分場の稲田矢ヶ崎兩氏相馬農學校校長佐藤弘毅氏小名濱測候所長等が講師に決定した

農具講習 既報縣主再び延期 催の作物農具の講習會は本月八日より十二日迄磐崎小學校に催される筈の處今回の衆議員議員選舉期間中は縣吏員の出張を全然中止する事になつた爲め前記縣主催農事講習會は再び延期され選舉後の廿三日より廿七日迄の五日間磐崎小學校に行はれる事に變更された

## 平映畫界

△平館 蒲田作品吉川英蘭渡邊篤主演『不景氣時代』日活現代劇廣瀬恒美、酒井米子主演『密偵』日活作品大河内傳次郎主演『大岡政談魔像篇』  
△世界館 東亞現代劇岡田靜江主演『母よその名を汚す勿れ』帝キネ作品雲井龍之助主演『血人天橋立』帝キネ現代劇『杉野兵曹長の妻』東亞現代劇尾上菊太郎主演『倒幕宣戰の朝』

## 平町人事

△胡摩澤二一 渡邊政壽氏長男博  
△回死 亡  
△鎌田町三藤田幸吉(四九)  
△彌宜町十酒井ハル(六八)

(時) (計) (眼) (鏡)  
高橋時計店

精幸堂 平町才小路

舊正月(二日)吉例 景品附  
三日初六賣出し

御買上金一圓毎に福引券一枚尙午時より一圓以上御買上げの先着一百名様に限り福引景品の外福景品澤山差上げます。

福引 一等三方欄三ツ重簞笥 以下 八等迄

優良特價品を取揃へ只管御用命を御待申して居ります當日は御混雜致しますから商品券を發行致します。

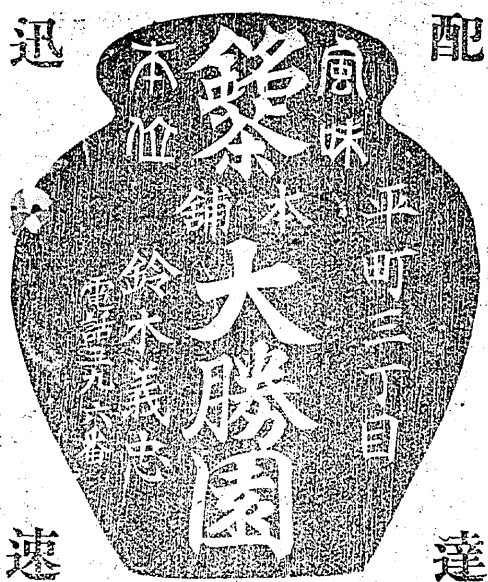
平町一丁目

和久井屋漆器店

電話四〇五番

お茶の値下斷行

本場銘茶の優良品を一段と品質を向上致しまして英斷的値下致しました、何卒御試飲下さいませ  
煎茶四十目袋入 十錢より五十錢まで  
ほうじ茶四十目袋入 十五錢 第二號十錢



速

達

# 鈴木派の陣立着々成る

## 早くも本日出來た立看板が

### 選挙熱をあふる

石城の政友派より大多数を以つて擁立された鈴木辰三郎氏の事務所は

既記の如く先づ南町

の大和家に本據を構へ書記長の鈴木辰三郎氏外十數名が大童となつて文書の整理其他に轉手古舞ひの大奮闘を演じ物凄じき計りの意氣込みを示して居るが本日は既に立看板全部が

出ま上り人夫等に依つて運び出され平町の街頭

に選挙気分を横溢せしむる事となつたが事務局長は山崎吉平氏に白羽の矢を立てた處同氏の子息が明日にも知れぬ

重態にある事と致し方なく他に物色する事となり多分古川傳一、井上茂作兩氏の内に明日日中決定を見るに至るべく候補者鈴木氏は昨夜深更歸平同志と打合せの上演通り各方面に遊説を開始し其の政見を發表する事となつた

相双兩郡から

### 佐藤氏出馬

#### 松本氏起らず

相双兩郡を本據として出馬すべく目されて居た松本孫右工門氏は立候補を承諾しない爲め佐藤庄太郎氏が昨日本部に於て公認された

# 米の手放して

## 検査米が減少

平穀物検査所管内に於ける一月中の移出米の検査数は總數七百五十一俵で昨年十二月の千四百一俵の約半數に減じて居りまた生産米の検査數も計一萬三百七俵で同じく昨年十二月の一萬八千六百七十二俵より減じて居るが是れは郡下の米價が高値を示した爲め各農家で持米をドシ／＼手放した結果で郡農會及び同所にて

旅館番頭が 平町親和會組織 旅館組合の各旅館に雇れて居る番頭間には何等親睦の機關がないので豫てより番頭

並に店主間を運動して平旅館組合信和會を組織すべく奔走中であるが近く成立を見る筈

# 遊かく内からとして

## エン筆の走り書き

### 娘は誘拐されたかと

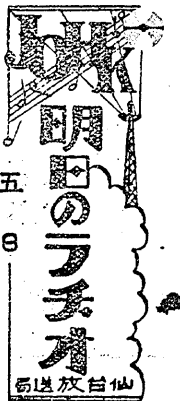
### 母親が驚いて平署へ

平町古銀治町雜貨商小谷セキの長女ユキ(七)は去月卅日頃一寸處用の爲めとて家を出た儘歸宅せぬので母親から其筋へ捜査願を出してあつた處昨日今此處に居ると東京市某遊廓内よりとして鉛筆の走り書きで母親宛に便りが有り通信すら満足に出來ぬ模様がつつたので母親は手紙を持つて平署に駆け込んだが主要な所書がないので確實な住所は判明しないが誘拐の上斯うした方面に賣り飛ばされたらしく平署では東京市内各署に手配した

# 坑夫壓死

## 同僚が発見

今朝午前三時半頃石城郡好間村古河炭礦の新幹坑入口より四千四百尺の地点で作業中であつた支柱夫石川縣能登郡西尾村字松岡生れ上好間古館居住の平川清(三)は突然一間四方、厚さ一尺餘の落盤に襲はれ避難する間もなく壓死を遂げたのを六



今夜は北風の風 小雪模様なるも 漸次回復し明日は天氣の見込み

### 今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 東京ラヂオオーケストラ (指揮)平野主水 (解説) 増野健美 後七、三〇 趣味講庭「東

北の紀行家菅江眞澄翁に就いて」佐々木喜善 後八、〇〇(節分 追難豆 撒状状況)芝大神宮より 中繼「齋主子爵 諏訪患 元外神職十數名 諏訪患 後九、四〇 時報 全國ニ

時入坑せる同僚が発見した

英三郎方垣根が昨夕午後八時頃突然發火したるに付之を怪しみ取調べ中の處同大字大河原彌三郎が被疑者として本日檢舉された

### 平職業紹介所報告

#### 求人部の部

- △出前持 廿才 尋卒 給料面談(四丁目某料理店)
- △理髪職 廿五才 高卒 月十圓位(平町某)
- △商店雜役 廿才以下 尋卒 給料面談(相馬郡某)
- △看護婦 自習 廿才前後 高卒 給料面談(小名濱某醫院)

#### 求職部の部

- △女中 廿才 尋卒 給料面談(大浦村某)
- △雜夫 廿五才 尋卒 給料面談(安積郡某)
- △店員 廿八才 高卒 給料面談(茨城縣某)
- △子守 一四才 月三圓位 尋三修(好間村某)
- △電氣職工 廿六才 高卒 給料面談(平町某)

# 石城郡町村會議員

## 大會は四月頃

### 昭博に招待

#### 昭博博覽會に招待する豫定

石城郡各町村會議員大會は 昭博博覽會に招待する豫定 昭博博覽會に招待する豫定 昭博博覽會に招待する豫定 昭博博覽會に招待する豫定

昭博博覽會に招待する豫定 昭博博覽會に招待する豫定 昭博博覽會に招待する豫定 昭博博覽會に招待する豫定

# 市原醫院

平町 田町 電話 一四番

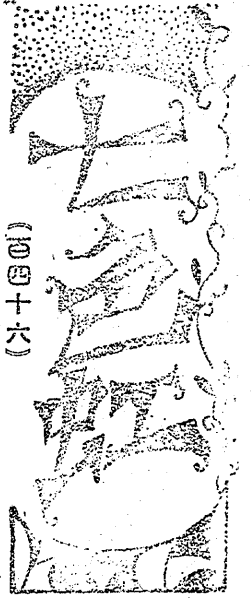
# 井の 手切 商品

番 八 四 三 二 平 三 電

# 美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

小説



【載轉禁】

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

馬鹿竹 (2)

細い眼の鼻の平たい圓まつちい顔の臺灣坊主にでも羅つたのか、横髪多にたかくした大きな禿があつた『お早よう』  
歌治がにこ／＼と聲をかける、その男も鵬も返へしに

『お早よう』といつた。そしてにやり／＼と歌治の顔を見上げた。  
『御苦勞さまね、昨晚は』  
『え、御苦勞さまね、昨晚は……』

歌治は直に言葉を交した、けて普通の人ではないことを直覺した、それと同時に一つの希望がほのかに頭腦のなかへ芽ぐんだ。  
『オホホ、面白い方ね、お前さんも夜徹しにこうして起きてゐて』

少し離れて立膝をしながら、睡眠不足にぼうとなつた。眼でその男の顔を見守つた。  
『あゝ、寝られあしないんだ。商賈が莫迦に忙しいや儲かるせ。アハ、』  
言ふことがます／＼變だ  
『何商賈？ ちよいと』  
『酒屋だよ』  
『あゝ酒屋さんかい。ちやお前さん御用聞？』

は伊勢屋の金箱なんだよ。お華客は有難いもんでね、馬鹿竹、馬鹿竹ツて最負にして下さるから、俺は家で威張つてらア。叔父の畜生俺を馬鹿にしやあがるからついで日はなぐりつけて文句を言つてやつた。やい馬鹿竹ツ、この馬鹿竹をあん



『なに、然うちやねえ。手前は出て歩かなくつていから家にゐると叔父はいふけれども俺が出なけりや商ひはねえだよ。馬鹿竹が来なけりや天氣が變るつてね皆さんは然う言つて待つて下さるくらゐだから、俺

『お、汚い』  
歌治は思はず飛揚つた。  
『まだ有るぞ、俺の名前は……電氣屋看板、夜中安全燈、覺えるのに骨が折れる』  
『いろ／＼あるのね。家は何處』

『雜司ヶ谷の鬼子母神さまの後ろの方だ』  
それからと尋ねて見ると此家は以前近くの法華寺の隠宅が何かで貸家になつてゐた。  
所が前に住んで居た或官吏の妻君が出入の大工と如何やらして殺された。そ

の騒ぎからこつち借人が絶へて暫らく空家になつてゐたところへ、昨今の連中が入つて来たものらしく。  
馬鹿竹の家から酒を取寄せ、竹を附功にさせて近所への走り使ひからお燻番までもやらせたのであつた。  
『ちや、お前さんはまるツさり知らない人たちでせう』  
『知らねえや』  
『この人たちはね、そりやお怖い連中なのよ。始終悪いことばかりをして方々を荒して廻つてる惡魔のやうな手合なんだから、此家だつてほんとうに借りたのだか何だか分りあしないわよ。うつかりするとお前さんとこの拂も倒されちまうわ』  
『怒ういふと竹は眼をばちくりさせて、不思議さうに歌治の顔を視詰めた。』

大塚の  
學生靴!!!  
耐久新製品  
編上靴 六〇〇  
半靴 五〇〇  
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚製靴部  
電話七七番

舊正月三日吉例無賣し  
御買上高

- 一金三圓以上 四市名入フロシキ一枚
  - 一金五圓以上 茶メリヤス箱入一枚
  - 一金拾圓以上 ナフトル着尺一枚
  - 一金二拾圓以上 茶色毛布二枚續キ一枚
  - 一金三拾圓以上 黒セルコート又ハ朱子裏トニ一枚
  - 一金五拾圓以上 純毛布二枚續キ一枚
  - 一金百圓以上 上等絹朱子裏トニ一枚
- 外に拾圓以上御買上げの方には!!!  
上等茶色毛布一枚進呈  
但し朝八時迄

正札堂洋服店

平町四丁目停車場通  
電話 四三六

一重景品附大賣出し  
吉例舊正月二日三日  
御買上多少ニカ、ワラズ  
大景品 萬差上ゲマス何卒御早ク御来店下さい  
外ハ御祝ヒトシテ福袋ヲ進呈致シマス

一等	掛時計
二等	目覚時計
三等	クロム腕鎖・同提鎖
四等	腕皮・腕ゴム
五等	硝子無料券

平三丁目(驛前通り)  
星野時計店

科病柳花科兒小科内  
院醫沼藤  
町屋紺町平  
番七〇五話電  
應需院入